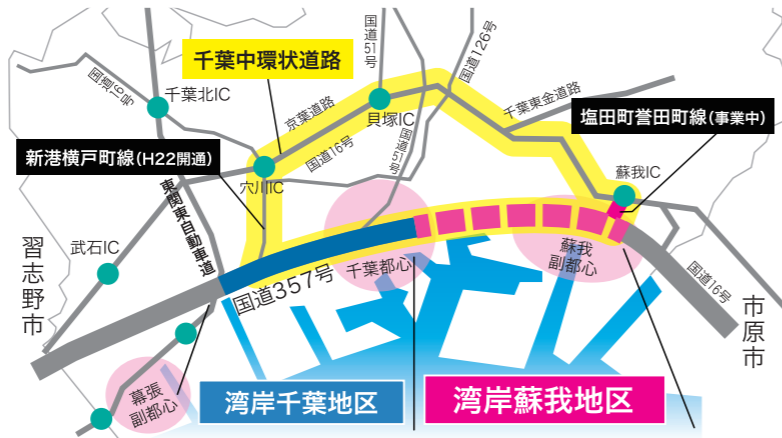


# トピックス

## ■国道357「湾岸蘇我地区」の6車線化が決定!

対象区間は、中央区問屋町のポートアリーナ前から塩田町の蘇我陸橋南までの約5キロ。6車線化のほか、両側に歩道を設置し、住宅が密集している山側の一部区間においては、国道への車両の出入りを集約するため、国道に並行して市道を整備する計画となっております。また、国道沿いにある市管理の水路については、移設する計画のようです。

本事業により6車線化が実現すれば、旅行速度が約1.5倍に上昇し、移動時間が3分の2に短縮されるほか、死傷事故率も1割減ると試算されております。このことから、輸送・通勤時間の短縮や定時性・速達性が確保され、蘇我副都心へのアクセス向上による周辺都市との交流も強化されることが期待されます。なお今年度は、設計に必要な測量などの調査が行われるようです。



「蘇我駅西側」交差点から見た国道357号

市の関係所管の取り組みや市長と公明党の国会議員との連携もあり、新規事業の採択につながりました。

市関係所管の取り組みや市長と公明党の国会議員との連携もあり、新規事業の採択につながりました。

## ■(仮称)生実町公園がまもなく完成!

中央区生実町に待望の街区公園がまもなく完成致します。私自身、「身近な街区公園が欲しい」との要望を頂いたのは約10年前。議会において、千葉市内の街区公園の整備状況を問うてみると、街区公園の整備率が最も低い地域が生実町エリアであることがわかり、以降、計画的な整備の推進を求めてまいりました。



まもなく開園となる(仮称)生実町公園

そうした中、地域の様々な関係者による働きかけもあり、土地の確保、整備が進められることとなり、この度の「8月中に開園」の運びとなりました。

街区公園は、地域のいこいの場であるのみならず、災害時の重要な拠点ともなるだけに、関係者のご尽力に感謝申し上げます。

引き続き、こうした一つ一つの地道な活動を続けてまいりたいと思います。

市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声をお聞かせください。

千葉市議会議員

〒260-0822 千葉市中央区蘇我3-5-14

**酒井 伸二**

**Tel/Fax.043-268-7120**

http://chibashi.com http://www.facebook.com/sakai.cc e-mail:sakai@chibashi.com



# 議会報告 さかい通信 2017夏号

## ◆副都心・蘇我に新しい風! JAPAN JAM 蘇我で開催

JAPAN JAMは、日本国内で開催される大規模な音楽フェスティバルの一つで2010年から開催されております。2015~16年は「JAPAN JAM BEACH」として海浜幕張公園が会場となっておりますが、今年から蘇我スポーツ公園に会場が変更となりました。

去る5月4日~6日の3日間、初開催となった蘇我スポーツ公園に行ってまいりましたのでご報告致します。

### ●千葉市の副都心・蘇我での開催定着を望む

蘇我スポーツ公園内に3つの大規模なステージが設置され、3日間で54組のアーティストが素晴らしいステージを披露してくれました。同様の音楽フェスティバルを知るファンにとっては、東京からのアクセスはもとより駅から近く、また会場内でのステージ間の移動が短いため非常に好評であったようです。

私も実感したのですが、参加された方々の慣習、文化なのかマナーが素晴らしく、近隣施設における駐車場問題やゴミ処理など、心配された課題はほとんど見受けられませんでした。また、周辺の企業、商店会、住人等からも同様の評価を伺いました。

来年のゴールデンウィークも蘇我での開催が決定しておりますが、日程の詳細など、関係機関との諸調整の上、間もなく公表されるようです。蘇我での開催が定着すれば、新たな地域ブランドとして内外に発信できるほか、まちの活性化に大きな力となります。また、毎年日程調整が早められれば有名アーティストの招致も可能となります。蘇我会場の定着にしっかりと取り組んでまいりたいと思います。



蘇我スポーツ公園で開催されたJAPAN JAMの様相

## ◆オリンピック・パラリンピックまであと3年!

### ●パラスポーツフェスタちば2017開催!

千葉市では、3年後の東京オリンピック・パラリンピック開催期間にあたる、7月24日から9月6日までを「機運醸成期間」と位置づけ、様々なイベントを実施することとなりました。

これまで議会において、機運醸成のための「カウントダウンイベント」の開催を提案してまいりましたが、それらの成果の一つと言えます。

皆さま、是非とも足を運んでみてください!!

体験会実施時間	タイムスケジュール			
12:00~15:30	メインアリーナ	サブアリーナ	ロビー	新宿中学校
■体験会競技種目	ゴールボール デモンストレーション			
・テコンドー		NHKハートフォーラム		
・車いすフェンシング			パラスポーツ 絵画作品展 他	
・車椅子バスケットボール	シットティングバレーボール デモンストレーション			パラスポーツ 体験会 (ゴールボール)
・ウィルチェアーラグビー	パラスポーツ 体験会			
・ポッチャ				
■要事前申込競技	シットティングバレーボール 学生対抗戦		J-MELO スペシャルライブ in 千葉	
・ゴールボール				
・シットティングバレーボール				

体験無料!

2017.09.02[sat] 10:15~17:30(10:00 受付開始)

千葉ポートアリーナ(千葉市中央区問屋町1-20)

※ゴールボール体験は千葉市立新宿中学校体育館で行います。  
※体験会に参加を希望される方は、動きやすい服装・屋内運動用の靴・タオル・飲み物をご持参ください。

【主催】パラスポーツフェスタちば実行委員会・NHK千葉放送局 【共催】NHK 厚生文化事業団

競技体験会事前申込に関するお問い合わせ TEL:043-445-8822【株式会社エス・シー・エス】



# 平成29年 第2回 市議会定例会を終えて 今後の市政の方向性に期待!

平成29年第2回定例会が、去る6月27日から7月13日までの会期で開催されました。市長選を終えて最初の議会となります。再選された熊谷市長は、3期目のマニフェストや議会の冒頭でも所信を表明しておりますが、私たち公明党市議団では、特に注目する10項目のテーマを選定し、改めて私どもの考えを示しながら市長の基本的な考えや取り組みについて質問を行いました。そこで、今後期待する6点について、そのQ&A概要を報告致します。

## マンホールトイレを全避難所へ

**質問** 会派として提案してきたマンホールトイレについては、平成20～28年度にかけて、非常用井戸を設置している避難所58か所に整備が進められてきた。今年度からはプールの水を活用したマンホールトイレの設置がモデル的に実施されているが、今後はすべての学校等の避難所に整備すべきと考えるがどうか?



災害時に活用されるマンホールトイレ

下水道直結式のマンホールトイレは、災害時においても、日頃使用している水洗トイレに近い環境を確保でき、衛生的であることから極めて有効である。

**市長答弁** 今年度、小学校3校において検証を行う予定であり、その結果をふまえ、来年度以降、設置可能な全ての学校等への整備を計画的に進めていく。

## 東京オリンピック・パラリンピックにおけるボランティア体制構築を

**質問** 千葉市では、都市ボランティアの体制構築にあたっては、民間を主体に組織化を図り一元的に募集や育成・管理を行う仕組みを構築していくとされているが、具体的に今後どのように取り組むのか?

**市長答弁** 大会後もその体制が存続し、継続的に活動ができる民間主体の体制にしたいと考えており、様々な団体が連携したボランティア実行委員会を7月中に設置する予定。その後様々な啓発活動を行うほか、平成30年8月の世界ソフトボール大会を皮切りにボランティアを派遣できるよう、今年度末に先行募集、平成30年夏頃に本募集をしていく。

### 編集メモ

3年前の政策提言において「おもてなしボランティアガイド」の育成を提案。多くの市民の方々から「何らかの形で参加したい」との声も頂いていることから、より多くの市民が関わりを持てるアイデアがありましたら、ご意見をお寄せください。

## 元気な高齢者の活躍の場づくりを

**質問** 元気な高齢者の活躍の場を千葉市としてどのように提供し、人材として活動していただくのか、健康寿命を延ばすうえでも大変意義のある取り組みであると考えますが、市長の見解は?

**市長答弁** 高齢者の多様な社会参加の要望に対応するため、就労や地域活動・ボランティアなどに対応した総合的な相談対応と情報提供を行う窓口として「生涯現役応援センター」を8月に設置することとしている。同センターでは、ハローワークなどの関係機関と緊密に連携し、高齢者の社会参加につながる情報を一元化して、様々な生きがいを求める高齢者の個別の状況に応じた対応を行う総合窓口機能に加え、相談者を窓口で待つだけでなく、地域に出向き説明を行うなど、対象となる高齢者のライフステージに合わせた効果的な支援やイベントを積極的に行っていく。



©KOMEITO

## 不妊症に対する施策の充実を

**質問** 子育てをしたいと考え、大変な負担をされている市民への支援の充実こそ少子化対策の重要な取り組みであると考えます。不妊症・不育症に対する施策の充実に向けた市長の見解は?

**市長答弁** 不妊症の助成制度については、平成28年1月の制度改正により、初回助成額の増額や男性不妊も対象とするなどの制度の拡充を図ったものの、未だ経済的負担は大きいと思われることから、不育症も含め新たな助成制度について検討していく。



©KOMEITO

## 京葉線・りんかい線の相互直通運転実現を

**質問** これまで「JR京葉線・東京臨海鉄道りんかい線の相互直通運転に関する協議会」が立ち上がり、昨年4月には国における交通政策審議会の答申にも位置付けられているものの、依然として相互直通運転の実現に向けての見通しは、はかばかしい進展が見受けられない。実現に向けた今後の展望について市長の率直な所感は?

**市長答弁** そもそも、この相互直通運転は、単に二つの路線をつなぐために、行政や鉄道会社間で課題を整理して進めるという次元のものではなく、東京圏の骨格となる鉄道網がどうあるべきか、まさに答申路線全体を見据えた広い範囲での議論が必要。様々な場を通じて国への働きかけをお願いするとともに、東京都政がキーであることから県知事と連携し都知事に働きかけるなど行ってまいりたい。



京葉線・りんかい線の相互直通運転のイメージ

## 教育環境の整備充実を

**質問** 限られた財源の中で学校施設整備の何を優先すべきか。これからの取り組みの方向性について市長の所見を伺う。

**市長答弁** 学校教育は誰もが経験しており、身近なものであることから、様々な意見がありますが、大事なことは、児童生徒の健康面及び学力面において、立証されたデータや専門的知見に基づき、最も有効な分野に予算を計画的に配分していくことであると考えます。現在は、外壁の改修及びトイレ改修等を優先的に進めているが、今後は、本年6月に設置した学校教育審議会において、様々な重要な教育課題とともに「学校施設の環境整備の方向性」について審議し、適切に判断していく。



©KOMEITO

